



かとう  
加藤 みのり 医師（内科）

愛知県出身  
総合内科専門医 産業医

2016年7月から、加藤みのり医師が常勤医として就任しました。医師を志したきっかけから最近のマイブームまでお聞きしました。

— 当院の印象はいかがですか。

加藤：夜間当直医として来たことがあります。病棟の昼の顔を見るのは初めてでした。随所に外からの光を取り入れるよう設計されていて、明るく清潔で開放感があり、過ごしやすい環境であると感じました。特に外来は、ビタミンカラーの優しい色合いの版画が飾られており、つい足を止めて眺めては、癒されています。

— 医師を志したきっかけは？

加藤：中学生の頃に、地元日進市で開催された、ある医師の講演会がきっかけです。地域に根ざした医療を実践する姿勢や、同じアジアの民であり、開発途上にある国の人々の健康を思いやる心とその活動に感銘を受けたからです。その医師は、いち早く老人保健施設

の前身のような施設やホスピスを設立されました。今でこそ当たり前となった施設ですが、安心して一生涯をふるさとで過ごすにはどうすれば良いかを考え、実践される姿を見て、医師が社会の役に立つ職業であるという印象を受けたからです。

— 先生の専門や得意な専門分野は何ですか。

加藤：現在、一般内科を専門にしています。子育てをしつつ、内科の急性期病院で研鑽してきました。内科疾患を始め、物忘れなどの老年期のお悩みはお任せください。

— 日頃の診療で心がけていることは何ですか。

加藤：患者さまに寄り添って、お話をしっかり聞くように心が

けています。

— もし医師になっていなかったら何になりたかったですか？

加藤：学校の先生ですね。子どもの成長は目を見張るものがあり、こちらも励みになります。当院の回復期リハビリテーションも同じ。障害を負っても、そこから回復しようとする患者さまのひたむきな姿に、力をもらっています。お手伝いできることは喜びですね。

— ご出身はどちらですか。

加藤：瀬戸市で生まれ、日進市で育ちました。大学は北陸だったので、毎年立山に登るなどして、豊かな自然を満喫しました。

— 最近のマイブームは？

加藤：昨今の猫ブームにのっかっ

て、にゃんこ LOVE ♥ です。2匹の猫を飼っています。少しおなかの弱い猫さんなので、自分で治療できるように小動物学の本を紐とこうかと思いつつ、やっぱり人間の勉強で手一杯です。



— 読者の皆さんへのメッセージをお願いします。

加藤：心や体の健康は自身の心がけで随分変わるものかもしれませんが、予防医学にも目を向けていただいて、それでも出会ってしまった人生の難所（病）から抜け出す手助けができればと思います。ともに健やかに過ごしましょう。